

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究プロジェクト番号	S-18-2
研究プロジェクト名	農林水産業分野を対象とした気候変動影響予測と適応策の評価
研究実施期間	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
テーマ代表機関名	農業・食品産業技術総合研究機構
テーマリーダー名	長谷川 利弘

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

農業、林業、畜産業、水産業という自然系産業の幅広い分野における社会経済側面を含む気候変動影響の予測手法の高度化・開発と適応策評価について大きな研究成果を得ている。農作物については、品質も考慮した多品種で網羅的な定量的評価が自治体の分解能で得られており、自治体の適応策策定に貢献すると期待される。畜産と水産の分野では初めてのデータ収集による将来予測を行った成果は学術的かつ社会的な意義がある。林業分野においてもシナリオによって興味深い結果が得られたが、地域ごとに政策を決定するためには今後樹種などを含めて多彩な因子を追加してモデル評価することが期待される。全体として、論文・国民対話・報道・受賞等も活発であり、環境行政への貢献の観点から高く評価される。一方で、課題として将来の日本の農業を取り巻く状況や多彩な適応策の考慮や需給傾向の予測、水産業における現状とモデルの関係調整、林業における多面性に基づいた観点の考慮、平均値ではなく最大値や極値に対する影響モデル評価等が必要であり、今後の研究の発展を期待する。